

## 式辞

おはようございます。

まずは、先程紹介があった6つの部活動及び1つのクラブの皆さん、県総体出場おめでとうございます。日曜日からいよいよ県総体が始まります。そんな皆さんに伝えておきたいことがあります。

以前、2つのお願ひをしました。1つは、地区総体に向けて、言い訳を一切せずに、できる限りの努力をすること、言い換えれば、「総体当日を含めて誰一人欠けることなく、同じ目標に向けてチーム全員で頑張ること」はできたでしょうか。もう1つ、「仁尾中のそれぞれの競技の代表として恥ずかしくない選手・チームとして、大会に臨むこと」はできたでしょうか。

本校は部員数が少なく、試合に出られない苦労はあっても、ユニフォームがもらえない苦労はあまりないかもしれません。しかし、学校名が入ったユニフォームには、頑張った思いや活躍した喜びとともに、試合に出られなかつたり、ユニフォームがもらえないなかつたりした先輩たちの苦労や涙もしみ込んでいます。その思いを胸に秘め、仁尾中学校のそれぞれの競技の代表として恥ずかしくない態度で、それぞれの学年における集大成の試合に精一杯頑張ってください。

3年生にとって、部活動での2年半という道のりは決して順風満帆ではなかったと思いますが、夢に向かい、立ちはだかる壁を乗り越えようと歩んできたことが、自分自身を確実に強くしてくれたはずです。そして、最後の大会となる今回の経験は、さらには人生をより強く豊かに生きていくための「力」と「教え」を与えてくれているのではないかでしょうか。終わって、ふとこれまでの歩みを振り返ってみた時に、自分が一番学んだと思うものを一生大事にしてほしいと思います。結局はそれが今後の皆さん的人生における支えになるものです。これから県総体に挑戦する者、新チームづくりへの挑戦が始まった者、将来の進路への本格的な挑戦に向かう者など、今、皆さんが置かれている状況は様々ですが、部活動でチームメイトと力を合わせて夢に向けた挑戦を続けてきた経験を力として、次なる一歩をしっかりと踏み出してほしいと願います。そのつま先を夢や次なる目標の方向にしっかりと向けて、自分やなかまを信じる気持ちを未来に向かって運んでいってください。

話は変わりますが、本日で長かった1学期が終了し、明日から44日間の夏休みが始まります。昨年同様に、特に意識して頑張ってほしいことを4つ、学校通信に明記しました。1つめは、午前中の時間を大事にしてください。1・2年生は部活動に休まず参加する。3年生は早く起きて受験勉強に取りかかる。それは、朝、定時に起きて、朝食をきちんと食べるという生活リズムを整える意味でも有効な行動です。2つめは、学習時間を確保し、夏休みの課題や受験勉強にきちんと取り組みましょう。かつて、「努力をしたからといって全ての夢が叶うわけではないが、努力をしない者の夢が叶うことはない」という掲示物を見たことがあります。敵は誰ですか？すぐさぼろう、手を抜こうとする自分自身です。自分に負けないよう頑張りましょう。3つめは、部活動休養日には家族で過ごしたり、自分で時間の使い方を考えて過ごしたりするなど、もったいない休日にならないようにしてください。4つめは、最低1つはお手伝いすることを決めて、頑張ってやり遂げましょう。普段できない庭への水やりや夕食の片付け、風呂掃除など何でもいいから取り組んでみましょう。

最後になりましたが、今週の水曜日に地域の素晴らしい出来事がありまし

たので、紹介したいと思います。水曜日の夕方5時半ごろ、校外へ出かけた学校への帰り道、父母ヶ浜のコンビニの前の道で、車道と歩道の間にある縁石に乗りあげて困っている車を見かけました。戻ってきて男性に「大丈夫ですか？」と尋ねると、ケガはなく、県外から旅行に来ていて事故をしたようです。レンタカー会社に連絡はしたことですが、車の左前輪のタイヤがパンクしており、縁石に乗りあげているため動きそうにはない状況でした。6時15分に対応を始めても、彼らが帰る飛行機の時間に合わないかもしれないと判断し、現場近くで車屋を経営している保護者に相談しました。とりあえず車を縁石から降ろしてみようということになって、会社の方が3名駆けつけてくださり、車を縁石から降ろし始めました。途中から、偶然通りかかった保護者の知人も手伝ってくださり、20分後の6時10分にJAFが来てくれて、最後の降ろすための指示と、その後のパンクしたタイヤの交換をしてくれたので、きっと帰りの飛行機に間に合ったと思います。私1人では、困っている彼らに寄り添うことしかできませんでしたが、急な依頼にも正義のヒーローのように颯爽と駆けつけ、終わったら何事もなく「気をつけて帰りなよ」と去っていくその姿に感動を覚えました。本当に感動する素晴らしい地域の姿を見せてもらいました。皆さん、素晴らしい街に住んでいますね。でも地域の助けはそれだけではありません。話が長くなるので本日は言いませんが、過去2年4ヶ月、本校も地域の力にものすごく助けてもらっていますので、それは知っておいてください。以上で本日の話を終わります。

令和七年七月十八日 三豊市立仁尾中学校 校長 池下 一顕